

あつゆきへ

三枝ひとみ
三重県・四一・主婦

あつちゃん、お母さんはもうずっとうつ病という心の病気になっています。元気でかっこいいお母さんでいたいのに、体があまり動かないのです。「ぼく、サッカーチームに入りたい」あなたにそう言われた時、「うん、入ろうね」とすぐに答えられませんでした。チームに入るとなると、保護者は役員になったり、いろいろ大変だという思いが頭をかすめました。どこへも行きたくないし、何もしたくないのです。ごめんね。お母さんといっしょにしたいことだっけっていっぱいあるだろうに……。気持ちと体がいうことをきいてくれないのです。

あなたはまだ小学二年生。お母さんの病気のことをうちあけるのは早いか、わかってくれるかなと悩んでいます。朝起きて、あなたを学校へ送り出して、そのあとごはんを作ったりそうじをしたり、それだけでせいっぱいなのです。こんなお母さんだと、あなたがこの先、かわいそうだとも思いました。心の病気ははずかしいことだと、自分を責めたりもしました。

今はまだ元気でないお母さんだけど、がんばってみるからね。子供は親を選べないんじゃないかって、私という母を選んでお腹の中に宿ったんだと信じています。私をあなたのお母さんを選んでくれてありがとう。

あなたのもとにいつの日かお嫁さんが来るまで、ずっといっしょにいられるかな。あつちゃん、うつ病なんかを負けない強いお母さんに、いつかきつとなってみせるから待っててね。

*うつ病と診断され、心療内科にもう何年も通院しています。息子のためにも早くなおそうとあせる日々をすごしております。息子のあつゆきのことを思うと、かわいそうでせつなくて苦しい恋をしているような想いです。母である以上、自分だけの体じゃないんだと実感しています。